

小学校・中学校学習指導要領解説総則編

将来の予測が難しい社会において、情報を主体的に捉えながら、何が重要かを主体的に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいくためには、情報活用能力の育成が重要となる。

教育の情報化に関する手引

このような学習過程において、情報収集し、試行の繰り返しをして整理・分析し、情報共有を図り、表現をするといったあらゆる学習場面において、ICT活用の特性・強みを生かすことが期待される。

収集した情報を他者と共有し、互いに協力しながら、そこに新たな価値を創造していく力が求められています。表現活動にICTを用いることで、動画や音声等の情報をデジタルデータ化し、それらを組み合わせることで、アナログでは表現できない作品を作ることができます。また、それらの活動を他者と協力して行うことで、情報活用能力の育成も期待できます。

素材を並べて動画編集

□ 粘土でコマ送りの動画を作成



動画編集ソフトを使い、映像作品を作ることができます。選んだ写真や動画を順番に並べ、つなぎ合わせることで一つの作品になります。編集ソフトは、声や音楽を動画に取り入れることもできます。

小学3年生 図工

粘土の人物にポーズをつけ、タブレットPCで写真を撮ることを繰り返します。動画編集ソフトで写真を並べ、コマ送りの動画を作りました。

□ 植物の成長記録動画を作成



継続して撮影した植物や動物の画像は、動画コンテンツの良い素材となります。撮影順に並べて、動画にすることで、成長の過程がひとめで分かる動画となります。

小学1年生 生活

朝顔が発芽し、枯れるまでの過程が23秒の動画で描かれています。

URL: <https://www.higo.ed.jp/colas/ICT/ict-contests>

Column

ICTを使った表現活動はきっと楽しいが...

ICT機器で撮影した写真を並べるだけで、動画やアニメーションが簡単に作成できます。小学校低学年でも取り組むことのできる活動ですが、学習のねらいや育てたい力が曖昧だと、単に楽しい活動で終わってしまいます。

ICTを用いた創作活動は、子供たちにとって魅力のある活動です。楽しく活動する児童を見ながら、ねらいの達成状況を評価することも大切です。





写真を利用した創作活動

□ 写真を使った不思議な風景



撮影した写真を印刷するだけでも、良いのですが、アイデア次第で面白い作品を作ることもできます。子どもたちの想像力を働かせる表現活動につながります。

【活用アイデア】

- ・ 写真の上に絵や文字をかく
- ・ 拡大印刷や縮小印刷をする
- ・ 印刷した写真を切り抜き、並べる

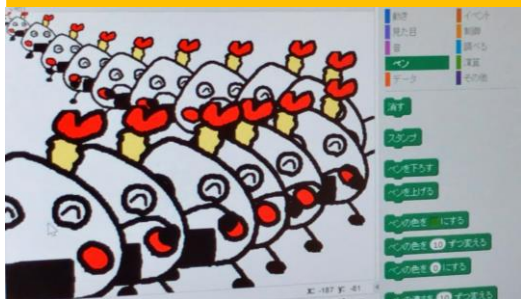
小学3年生 図工

小さく印刷した写真と、身近な道具と組み合わせることで、少し不思議な風景ができました。



プログラミングで創作活動

□ 大きさや位置を制御した作品



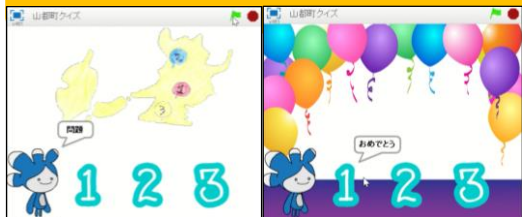
コンピュータは、順序よく繰り返し作業を行うことが得意です。プログラムを創作活動に用いることで、作品作りが充実するとともに、プログラミングの思考の育成につなげることができます。

小学5年生 図工

キャラクターの位置と大きさをプログラムし、おにぎりが、近づいて見える作品を作りました。

URL:<https://www.higo.ed.jp/center/B-1>

□ 双方向性のあるコンテンツ



クイズや施設案内など、対話型コンテンツの作成が可能で、紙面にまとめたものに比べ、表現の可能性が大きく広がります。

小学4年生 社会

学習したことをビジュアル型プログラミングを用いてクイズ形式でまとめました。

ICT活用に関する情報提供



熊本県教育センター
「ここからはじめる ICT 活用」

https://www.higo.ed.jp/center/jouhou/ict_katuyou



熊本県教育情報システム
<https://www.higo.ed.jp/colas/>

